

発議案第42号

オスプレイの新たな国内配備に反対し、米海兵隊オスプレイの即時撤去を求める意見書について

上記の発議案を別紙のとおり地方自治法第99条及び会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成26年11月18日

八千代市議会

議長 坂本 安 様

提出者	八千代市議会議員	小林 恵美子	㊞
賛成者	八千代市議会議員	堀口 明子	㊞
	同	皆川 知子	㊞

提案理由

政府に対し、オスプレイの日本国内への新たな配備や訓練、整備拠点の設置を直ちに中止し、米海兵隊オスプレイの撤去を米政府に要求するよう、強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

オスプレイの新たな国内配備に反対し、米海兵隊オスプレイの即時撤去を求める意見書

構造上の欠陥を抱えて重大事故を繰り返し、「空飛ぶ棺桶」とも称されている米新型輸送機オスプレイ 24機が、沖縄県民の強い反対を押し切って普天間基地に強行配備されて以降、同機による沖縄での危険きわまる訓練飛行や、全国各地への我が物顔の飛来が、住民の強い不安と怒りを呼んできた。

にもかかわらず、「オスプレイは日本から出てゆけ」の国民世論をあざけるように、防衛省は、陸上自衛隊に新しく17機のオスプレイを導入し、それを県営の佐賀空港に配備して、同空港を陸自最大の航空基地とする重大な計画を明らかにした。『日本版海兵隊』の一大拠点をつくらせるな」の戦いが、今現地では燃え広がっている。

日本政府のオスプレイ増強の慌だしい動きはそれだけではない。一部マスコミは、防衛省が本県の自衛隊木更津基地を、普天間配備の米海兵隊オスプレイ 24機、並びに陸上自衛隊に新たに配備されるオスプレイ 17機の定期整備拠点として、さらには訓練拠点として活用する方針であると報じて、県民に衝撃を与えている。

もしもこのような事態が現実のものとなるならば、住宅や企業、大型ショッピングなどが密集する木更津市周辺、さらには千葉県上空をオスプレイが飛び交い、住民を耐えがたい騒音被害と墜落事故の恐怖にさらすことは必至だと言わなければならない。

集団的自衛権の行使容認を強引に閣議決定し、「海外で戦争する国づくり」へと暴走する安倍政権のもとで、日米の軍事一体化と軍備増強にさらなる拍車がかかり、危険きわまりないオスプレイの新たな配備や運用が、国民世論を踏みこみ、当たり前のように進められてゆく動きを、断じて許すことはできない。

よって本議会は政府に対し、オスプレイの日本国内への新たな配備や訓練、整備拠点の設置を直ちに中止し、米海兵隊オスプレイの撤去を米政府に要求するよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年11月27日

八千代市議会

提出先

内閣総理大臣様

防衛大臣様